



第 181 回 令和 3 年 12 月 1 日
伊豆歩俱樂部会報

♪伊豆歩の歌♪ 詠み人知らず

歩歩歩（ふふふ）の歩（ふ）
緩歩で観歩
歩歩歩（ほほほ）の歩（ほ）
歩歩笑美（ほほえみ）伊豆歩は
歓歩で完歩

■第 230 回 伊豆歩俱樂部 12 月例会

下田富士と春日山遊歩道ウォーキング

10Km

下田富士と駿河富士（富士山）と八丈富士は三姉妹でした。長女の下田富士は、妹の富士山と仲良く、雨が降ればかさ雲をかけてあげるなど大変面倒見が良かった。次第に妹の富士山は美しくなりました。姉の富士山は、丸く膨れた牡丹餅の様な顔。自分の醜さを悲しみ、妹と顔を合わせなくなり、天城さんという屏風を立ててしまいました。心配した妹の富士山は姉を見ようと毎日背伸びをして、つま先立ちしていくうちに、背が高くなり、ついに日本一の高さになった。姉は妹に見られまいと身体を縮めてしまい、更に低くなってしまった。そして三女の八丈富士は遠くの海から心配し、姉たちが仲良くなることを祈り続けたという。



高さ 187m あります。日本全国で観光富士と呼ばれる 58 の富士の中で、高さが一番低い山になります。山全体が 1 つの岩で出来ているので、一岩山とされています。

登山道入り口から 108 段の階段と山道を徒歩 20 分程で登ると頂上には浅間神社があります。又、昔は女人禁制の山であったため、途中で女人禁制と書かれた石碑があります。

道の駅「開国下田みなと」をスタートしてみなと橋を渡り伊豆急下田駅から下田富士に登る。敷根公園で昼食、岩下から折戸へ進み春日山遊歩道（石丁場、春日山三十三観音）、下田公園、お茶ヶ崎展望台、赤根島、下田循環道路、ペリー上陸の碑、山善河岸からみなと橋を渡りゴールの道の駅です。

*ステッキがあると便利です。

【開催月日】 令和 3 年 12 月 12 日（日）

【集合場所】 道の駅「開国下田みなと」 ウッドデッキ（伊豆急下田駅より徒歩 10 分）

【集合時間】 9 時 15 分 ・スタート 9 時 30 分

【交通機関】 J R 伊東駅発 7 時 51 分 → 伊豆急下田駅着 8 時 51 分

【参加費】 会 員 無料 一般参加者 500 円（マップ、保険代等）

【コース】 10Km

・道の駅「開国下田みなと」(wc) →みなと橋→伊豆急下田駅 (wc) →下田富士→下田富士山頂 (187m) →敷根公園 (昼食) (wc) 岩下→折戸→春日山遊歩道→下田公園→お茶ヶ崎展望台→海中水族館 (wc) →赤根島→下田循環道路→ペリー上陸の碑 (wc) →山善河岸 (wc) →みなと橋→道の駅「開国下田みなと」(wc)

【ゴール予定】 14時30分

【備考】 ***感染防止のためマスクの着用をお願いします。**
***新型コロナ感染拡大防止のため、中止となる場合もあります。**

【問合せ先】 伊豆歩俱樂部事務局 (笹本)

TEL 0558-22-5465 携帯 090-2140-1717

■第231回 伊豆歩俱樂部 1月例会

早春の水仙を訪ねる

10Km

1月の第24回下田水仙ツアーは、新型コロナウイルス感染症拡大防止と遊歩道の二か所(ハリスの小径、須崎遊歩道)の通行止めで中止となりました。そこで昨年と同様、当俱樂部で、コースを変えて水仙の咲く爪木崎ウオーキングを開催いたします。

道の駅「開国下田みなと」を出発して、まどが浜海遊公園、松陰の小径から県道を進み、爪木崎入口から須崎御用邸を過ぎて300万輪の水仙の咲く爪木崎がゴールです。



帰路は、爪木崎駐車場から道の駅「開国下田みなと」までは公共機関を利用して下さい。
(東海バス・爪木崎～道の駅「開国下田みなと」前 410円、伊豆急下田駅 440円)

【開催月日】 令和4年1月9日(日)

【集合場所】 道の駅「下田開国下田みなと」ウッドデッキ(伊豆急下田駅徒歩10分)

【集合時間】 9時30分

【出発式】 9時45分 ・スタート 10時00分

【交通機関】 JR伊東駅発 7:51→伊豆高原発 8:12→伊豆熱川発 8:24
伊豆急下田駅着 8:51

【参加費】 会員 無料 一般参加者 500円(マップ、保険代等)

【コース】 10Km 団体歩行

・道の駅「開国下田みなと」→まどが浜海遊公園→松陰の小径→爪木崎入口→須崎御用邸→爪木崎灯台→いけんだ浜

*交通量が多い為、歩行には充分気をつけて下さい。

【ゴール予定】 13時30分

【問合せ】 伊豆歩倶楽部事務局（笹本）

TEL・FAX 0558-22-5465 携帯電話 090-2140-1717

※ 新型コロナ感染防止のため、マスクの着用をお願いします。

※ 新型コロナ感染拡大の時は、中止となる場合もあります。

第229回 伊豆歩倶楽部 11月例会

「絶景の伊豆西海岸線を歩く」に参加して

伊豆歩倶楽部会員番号 N01702 福永誠

松崎町の岩地、石部、雲見をむすぶ三浦海岸(サンポカイガン)の絶景を存分に楽しめた一日だった。海岸線は岬で大きく駿河湾にせり出し、入江に静かな浜辺を用意している。その曲線に沿って国道136号線が走り、岬に向かって緩急を交えつつ登ってゆく。下りになっても細かくカーブを繰り返し、通行する車や人を飽きさせることがない。山側は切り立った岩壁が続き、海側もほぼ垂直の崖になって水辺まで松の木や背の低い草木が茂っている。眼下の海が美しい。岬付近は国道以外に人工物がない。絵の具で表現できないブルーの海面が見る者の眼をとらえて、息の切れるつらさを忘れさせてくれる。国道沿いの足元には、松崎の町花であるツワブキが散見された。



昨日の夕方小雨が降り始めた。またかと思った。この1週間天気予報は雨と晴れを繰り返し、参加の決断が鈍っていた。会長には参加いたしますとの連絡はした。翌朝予報は9時まで雨、その後は曇りになっていた。雨具を用意してスタート地点の長八美術館に向かう。到着したら雨はやんでいた。

出発して最初に訪れたのは室岩洞。石切り場だった所で国道から海側に少し下って薄暗い洞窟を一巡

する。天井や左右の岩壁にノミの跡が生々しく残っている。貴重な歴史遺産で、再訪して時間をかけて見学したい気持ちが湧いてくる。当時の石切りの作業記録が残っているのなら、その様子をイラストにして見てみたいと思った。

石部の海岸で昼食をとる。石部と言えば今や棚田で名を広めている。ちょうど1年前、町の観光協会主催の「大遠足」に参加しこの棚田を登ったことを思い出した。立派な駐車場が設置されているので、歩きたくない方でも四季折々の棚田の風景を楽しめるようになっている。

ゴールの雲見見晴台からの富士山の雄姿は予想通りだった。各地に富士見という地名があるように富士山の頂上は遠方からでも確認できるが、そのきれいな裾野のラインまでが確認できる場所は限られている。日本平、だるま山など高所から駿河湾越しに撮影された写真はあるが、海面近くから仰ぎ見る霊峰の姿は西海岸の財産である。



国道が開通する前は「伊豆半島最後の秘境」と呼ばれていた三浦地区が豊かな風景を残して迎えてくれたことはありがたいことでした。帰りは会長と飯作さんの車に分乗してスタート地点まで送って頂きました。



「聞声」 作者 堤 達男氏

◇◆◇例会報告◆◆◇

■第229回 伊豆歩倶楽部 11月例会

絶景の伊豆西海岸線を歩く

- ・開催月日 令和3年11月7日(日)
- ・集合場所 伊豆の長八美術館駐車場
- ・集合時間 9時45分
- ・出発式 9時50分 ・スタート10時00分



- ・天 候 薄曇り
- ・参加者 10名（内一般参加1名）
- ・距 離 8Km
- ・出発式 開会挨拶 笹本 祀長会長
 コース説明 飯作 勝治
 ストレッチ体操 笹本 祀長
 檄 徳田 尚志
- ・コースリーダー トップ 山本 清
 アンカー 飯作 勝治
- ・閉会挨拶 山本 清副会長



昨夜からの雨も9時頃には上がり、西からは青空が見える。10時00分薄曇りの中を出発する。

富士見彫刻ライン（4Km21体）の緩い登り坂を進む。室岩洞入口に10時15分に着く、室岩洞を見学して10時40分出発。少し進むと雪をいただいた絶景の富士山が現れ疲れを癒してくれる。冠雪の富士山を見ながら岩地に11時15分、昼食会場の石部「平六地蔵露天風呂」東屋に11時50分に着く。12時30分出発して雲見見晴台「思い出岬」に13時15分、雲見クジラ館に13時40分に着く。今日は一日中富士山に見守られて全員無事ゴールした。車に分乗して伊豆の長八美術館駐車場に14時10分着く。

事務局便り

伊豆歩倶楽部は、来年で創立20年を迎える伝統あるウォーキングクラブである。

最盛期においては会員数は160名を超え、月例会の参加者は40名を超えるほどの盛会であった。ところが現在は会員数も50名前後であり、月例会の参加者も10名前後と落ち込んでいる。加えて主要であったメンバーも高齢化して倶楽部の体力がままにならない状況に来ている。現状のままで行くとあと数年で倶楽部の存続自体が、危ぶまれる状況にあると思う。

そのため会員各位が、かかる状況を打ち払う行動を、会員の総力を挙げ取り組むべきであると考え、会員諸兄姉に次のことを提案したい。

今後も豊かなウォーキングライフを続けてゆくために、一人一人の会員がこの1年のうちに一名の新会員を加入させるキャンペーンの実施をお願いしたい。そんな中から次世代の伊豆歩倶楽部を背負っていく人材が、現れることを願って止まない。

一人1会員の勧誘を目指して頑張ろう！

伊豆歩俳壇

見上げたる我を見下ろす 烏瓜

清水政悦

立冬の富士を背負いて雲見抱く

清水政悦

秋雨止み冠雪清し富士の山

徳田尚志

立冬や駿河の海は波静か

徳田尚志



- ・ホームページアドレス <http://www.izuhoh-club.com>
- ・メールアドレス info@izuhoh-club.com
- ・投稿記事その他ご意見・ご感想をお寄せ下さい。「伊豆歩俳壇」にも一句・・・皆様のご参加をお待ちしています。
- ※会報への投稿は、毎月 20 日までをお願い致します。それ以降に届いた原稿は次号にてご案内させていただきます。
- ・伊豆歩倶楽部広報 飯作 勝治
〒410-3611 静岡県賀茂郡松崎町松崎85-2 TEL: 0558-42-0864
携 帯: 090-7675-8682
- ・ 発行者 〒415-0038 静岡県下田市大賀茂301
『伊豆歩倶楽部事務局』笹本 祀長
TEL & FAX 0558-22-5465

■令和3年度 伊豆歩倶楽部新規会員募集中！！

伊豆歩倶楽部に入会して伊豆の自然を満喫しながら楽しくウォーキング！ 仲間と歩くと心も軽く笑顔もあふれます。多くの皆様の新規ご入会をお待ち申し上げます。お気軽にお問い合わせください。

日本ウォーキング協会の入会及び継続（正会員・維持会員）をご希望の方も伊豆歩倶楽部会員手続きに合わせて手続きを行いますので、その旨をお知らせください。退会予定の方も事務局または役員までご連絡をお願いします。詳しくは伊豆歩倶楽部事務局 笹本【0558-22-5465】までお気軽にお問い合わせください。

《令和3年4月1日～令和4年3月31日》

【会 費】 継続会員 3,000 円／年 家族会員 1,500 円／年
新規会員 4,000 円 （ 入会金 1,000 円 年会費 3,000 円／年 ）
日本ウォーキング協会 正会員 10,000 円／年 維持会員 2,000 円／年

【納入方法】 郵便振替用紙にて『記号10150通帳番号57680821 伊豆歩倶楽部』宛に納入して下さい。
※例会等へ現金をご持参の方は、封筒にお名前・入金額をご記入の上、伊豆歩倶楽部の受付へお渡し下さい。

